

# 強豪相手に地力を発揮

## 今季初勝利!

# 駒澤大学 3-0 流通経済大学

巧みなテクニックで何度も  
好機を演出した板倉  
(撮影：森 綾香)

4月26日 11:30 多摩市陸上競技場

駒大 3 (1-1) 0 流経大  
(0-2)

得点者 (アシスト)

[駒]23分小牟田  
[駒]42分板倉  
[駒]80分伊藤

### KOMAZAWA

GK①秋山瑠偉(4)  
DF⑬大木 暁(4)  
DF⑤伊藤慎人(4)  
DF④平尾優頼(4)  
DF⑯柳川剛輝(3)  
MF⑩板倉直紀(4)  
MF⑰立石忠之(3)  
MF⑱吉岡雅和(2)  
(60分)⑪小牧成亘(4)  
MF⑰平野篤志(3)  
(84分)⑫鹿野剛己(3)  
MF⑮須貝 暁(4)  
(81分)⑭児玉卓也(2)  
FW⑨小牟田洋佑(4)

### S U B

GK②積田景介(3)  
DF②嶋谷昇大(3)  
MF⑩キンデセン(2)  
FW⑲大谷真史(2)

### MANAGER

秋田浩一

### RYUTSU KEIZAI

GK①中島宏海(3)  
DF②湯澤聖人(3)  
DF⑤川崎裕大(4)  
DF④鈴木翔登(4)  
(29分)西谷和希(3)  
MF⑮塚川孝輝(2)  
(74分)富樫大介(3)  
MF⑳小波津辰希(3)  
MF⑦森保圭吾(3)  
MF⑬山岸裕也(3)  
(HT)江坂 任(4)  
MF⑯野口 翼(1)  
MF⑥富田湧也(4)  
FW⑯田上大地(3)

### S U B

GK②緒方大樹(4)  
DF⑲藤原雅斗(2)  
DF⑲三島廉士(1)  
FW⑲藤山 凌(3)

### MANAGER

中野雄二

[シュート]12:12 [GK]9:7 [CK] 8:7 [直接FK]11:15  
[間接FK]2:5 [主審] 浅田武士 [観衆]352人

警告(C) / 退場(S)

[駒]51分 平尾優頼(C)  
[駒]66分 板倉直紀(C)  
[駒]75分 大木 暁(C)

※データの左側が駒大

## ようやく掴んだ初勝利!

開幕から4試合 勝ち星なしの駒大は昨年の総理大臣杯王者である流通経済大学との一戦に臨んだ。

試合開始直後から駒大は今まで溜まっていた鬱憤をすべてぶつける様な猛攻を見せる。最前線では小牟田が圧倒的な高さで空中戦を制し、味方の攻撃を引き出す。右サイドからは平野がキレ味十分のドリブルで相手守備陣を翻弄。イレブンそれぞれが持ち味を発揮し、駒大ペースで試合が進む。

開始早々から相手ゴールに迫り続けた駒大だったが試合が動いたのは23分。板倉が体勢を崩しながらも正確なコントロールで右サイドの平野にロングパスを通すと、平野がスピードに乗り右サイドをドリブル突破、クロスをあげる。それを小牟田が受けゴールに巧く流し込み先制。その後も攻めの姿勢を崩さずにいると40分、PA内で須貝が倒されPKを獲得。板倉が冷静に決め、2-0で前半を折り返す。

前半はシュートを1本も打たせず流経大の攻撃を完全にシャットアウト。しかし、後半は流経大が攻勢を強め、我慢の時間帯が続く。

それでもCBの平尾や伊藤、GKの秋山を中心に体を張った守備を見せ、ゴールを割らせない。すると逆にチャンスが駒大に訪れる。80分、板倉のCKからファーサイドの伊藤がとどめの3点目を決める。その後も流経大の攻撃を跳ね返し続け3-0で試合終了。

後半に浴びたシュート数は12本。だが、そのほとんどが枠から大きく外れたものだった。普通なら相手の決定力に欠いた部分に助けられたと言えるかもしれないが、今節は違った。前節までと異なったのは、相手に良い姿勢でシュートを打たせてないということだ。「みんな勝とうという気持ちでできた結果」と主将の平尾が今節を振り返るように、全員が大事な局面では球際に激しくあたる事が出来ていた。結果、流経大の選手に自由にプレーさせず、思うようなシュートを打たせなかったことが今季初の勝ち点3奪取に繋がった。次に目指すのはもちろん今季初の連勝だ。常に挑戦者として気概を絶やさず、目標に向かって前進してほしい。

(向江凌理)